



Q 河川管理は適切にできているか

A 建設農林部長

県管理、町管理の河川については適切にできている。

【Q1】

道上川については、護岸の法面について土が崩れた箇所を土で復旧しているが、何度も復旧工事に予算を計上すると、強固な護岸工事に予算を計上すること、どちらがコスト削減に繋がるか考えるべきではないか。

【A1】

災害復旧は制限がある中でコストに見合う対策をし、二、三度手間にならないよう考える。

【Q2】

雨が降るたびに河川の氾濫を心配する町民も多く、川底の浚渫について町内にはまだ実施されていない箇所があるが。

【A2】

緊急浚渫推進事業債などを活用し平成31年度当初予算と比較すると5倍程度の予算を

組んで執行している。

【Q3】

二河川の川角の神社の下の方では既に島ができています。早急に浚渫しなければ人災になることを危惧しているが。

【A3】

県に対し町内の堆積状況を適宜伝える。

【Q4】

管理者のいる町内河川を町民が川掃除することは不自然に感じる。参加者の減少、高齢者の熱中症等の懸念など命の危険を感じる。川掃除を廃止するべきではないか。

【A4】

河川管理は行政の責任である。道路清掃で良い、川に入らなくても良いと伝えているので来年は徹底し、実施時期も検討する。

Q 部活動の地域移行は進んでいるのか

A 教育長

国の方向性が明確でないため具体的な協議に至っていない。

【Q1】

平成25、29、30年、令和4年に中学校の運動・文化両部活動に関する、国からのガイドラインが示されているが、当町の進捗は。

【A1】

国のガイドラインをもとに、平成30年に町の運動部活動方針を定めたところである。

【Q2】

今後数年で、地域移行するとの方針だが、地域団体への協力要請や周知なされていないが。

【A2】

NPO熊野健康スポーツ振興会、校長、体育主任を集め、協議したが方向性が明確でないため、充実した協議に至っていない。

【Q3】

国の舵は既に切られた、町の進捗はない。

地域体育・文化とともに、他町に遅れることがないように、町独自にでも、ハード・ソフト面を含め早急な、環境整備を進めるべく予算付けを要望する。

【A3】

部活を含め、学校教育・社会教育の教育関係予算は可能な限り確保したいと考えている。



▲熊野東中学校ソフトテニス部

Q 小中学生や保護者の要望に配慮した教育が行われているか

A 教育長

学校・家庭・地域 一体となって取り組んでいる。



【Q1】

町内中学生のヘルメットへの記名の有無について。

【A1】

生徒、保護者等の様々な意見を参考に、適切に対応していきたい。

【Q2】

暑さ対策は急いで取り組んでもらいたいが。

【A2】

教室ではエアコンと扇風機を併用している。体育館、武道館においても扇風機や送風機を活用しているが、児童生徒の体調に、より注意をはかり授業、指導をすすめていく。

【Q3】

酷暑が続いている、グラウンドでの授業をより多く水泳指導等に振り向けることはできないか。

【A3】

学習内容については、学習指導要領により定められており、水泳指導を増やすことはできないが、暑さ指数（熱中症指数）など気候状況を考慮したうえで、実施時期等を判断していきたい。



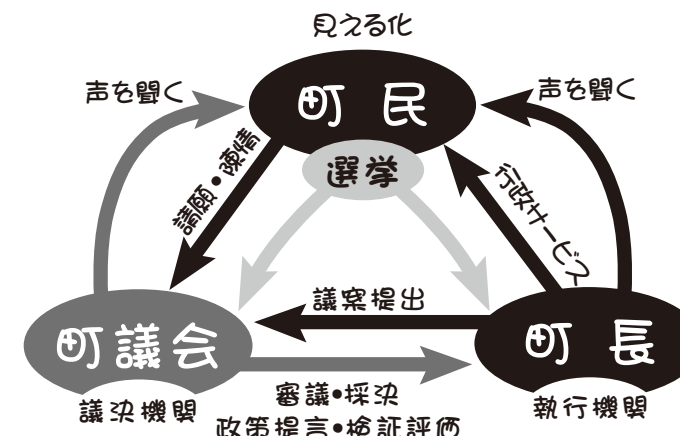
▲中学生の通学風景

議会豆知識

町議会とは？

地方議会 = 二元代表制

自治体の長と議員、地方自治の2つの担い手が、同じ町民から直接選挙で選ばれる制度です。町民の意思を、より直接的に反映する形となっています。



1. 町長と議員がともに選挙で選ばれ町民代表となります。
2. 行政と議会は対等の関係にあり、互いに協力・牽制しながら自治を行います。
3. 議会の存在により、行政の暴走抑止、町民意見の反映などを行うことができます。